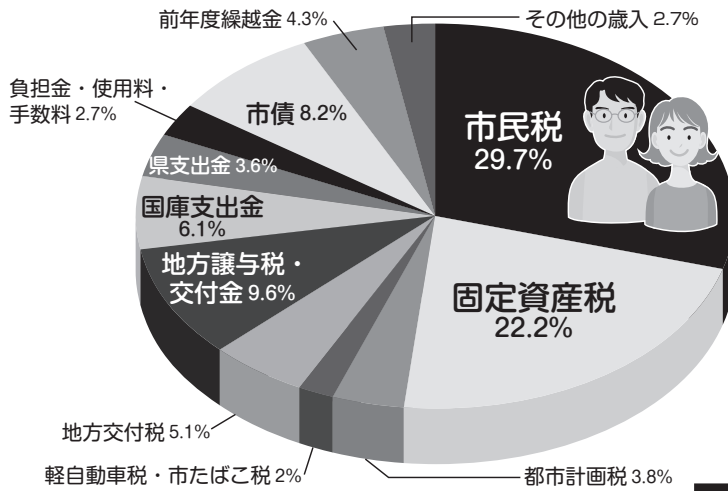


平成18年度の歳入・歳出の結果をお知らせします

志木市の財政状況

平成18年度決算報告



歳入合計
 17年度 162億3,989万円
 18年度 172億6,594万円
 (1人当たり 255,315円)
 (17年度比)
 10億2,605万円増

歳入

【表1】

(千円)

歳入	18年度決算額	17年度決算額	18年度-17年度
市			
税	9,963,718	9,390,102	573,616
市民税	5,126,870	4,682,849	444,021
固定資産税	3,827,668	3,858,974	▲ 31,306
都市計画税	663,747	500,994	162,753
軽自動車税、市たばこ税	345,433	347,285	▲ 1,852
地方交付税	879,269	864,570	14,699
地方譲与税・交付金	1,648,193	1,527,890	120,303
国庫支出金	1,059,161	1,165,527	▲ 106,366
県支出金	620,405	554,381	66,024
負担金・使用料・手数料	461,287	392,489	68,798
市債	1,419,300	1,145,600	273,700
前年度繰越金	743,683	436,392	307,291
その他の歳入	470,924	762,939	▲ 292,015
歳入合計	17,265,940	16,239,890	1,026,050

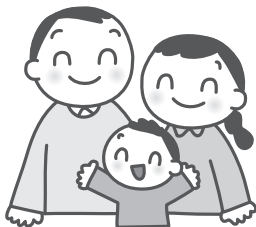
問合せ/
 財政課 内線 2 2 5 3

歳入の主な状況

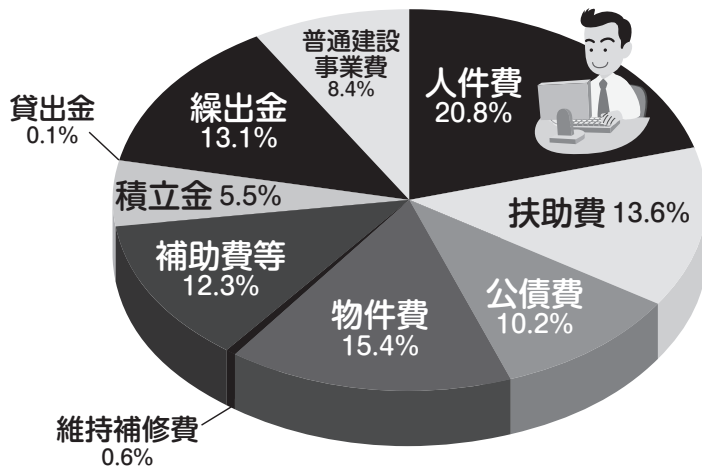
平成18年度一般会計の歳入の決算額は、約百七十二億六千万円となり、平成17年度に比べ、約十億二千万円の増となりました。歳入が増えた主な要因として、次のものがあげられます。

歳入〔表1〕をみると、市民税が約五億七千万円の増となりました。これは、税制改革などによる定率減税の縮減で、市民税収入が約四億四千万円増となったことや、都市計画税の税率を見直したことにより、都市計画税収入が約一億六千万円増となったことなどによるものです。

また、地方特例交付金が約八千万円、国庫支出金が約一億円それぞれ減となり、地方譲与税のうちの所得譲与税が約一億八千万円増となりました。これは、三位一体の改革が進んだことにより、国から地方公共団体への国庫支出金が縮減し、本格的な税源移譲を行うまでの措置として所得譲与税が増加したことによるものです。



9月号にて、財政非常事態の脱却宣言についてお知らせしました。今月号では、平成18年度の市の財政状況をお知らせします。



歳出合計

17年度 154億9,621万円
 18年度 164億7,175万円
 (1人当たり 243,571円)
 (17年度比)
 9億7,554万円増

歳出

【表2】 (千円)

歳出(性質別)	18年度決算額	17年度決算額	18年度-17年度
人件費	3,426,804	3,739,952	▲ 313,148
扶助費	2,247,922	2,186,807	61,115
公債費	1,674,919	1,612,562	62,357
物件費	2,532,229	2,660,694	▲ 128,465
維持補修費	97,769	112,627	▲ 14,858
補助費等	2,023,582	2,199,584	▲ 176,002
積立金	906,628	684	905,944
貸付金	14,517	76,650	▲ 62,133
繰入金	2,155,825	2,160,962	▲ 5,137
普通建設事業費	1,391,558	745,685	645,873
歳出合計	16,471,753	15,496,207	975,546

歳出の主な状況

平成18年度一般会計の歳出の決算額は、約百六十四億七千万円となり、平成17年度と比べ、約九億七千万円増となりました。

市長及び教育長の給料月額を10%減額するなど、さまざまな削減策を講じてきましたが、歳出が増えた主な要因として、次のものがあげられます。

性質別歳出【表2】を見ると、積立金が前年度に比べ、約九億円の増となりました。これは、子どもたちの学習と生活

平成18年度特別会計決算

(千円)

項目	歳入	歳出	
		一般会計繰入金	
老人保健	3,591,109	308,105	3,470,239
国民健康保険	5,934,758	484,694	5,750,950
下水道事業	1,891,699	809,751	1,816,752
館第一排水ポンプ	524,850	90,646	518,232
志木駅東口地下駐車場事業	80,322	0	78,844
介護保険	1,731,989	244,588	1,616,889

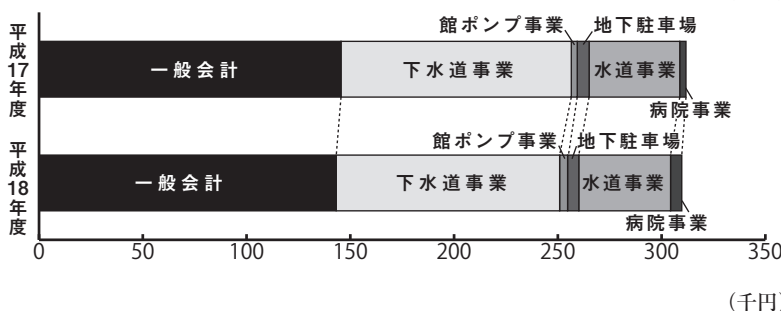
の場である学校施設や、市庁舎の耐震補強工事を行うため、公共建築物耐震化基金を積み立てたことなどによるものです。

また、普通建設事業費が約六億四千万円の増となりました。これは田子山地区における浸水被害を軽減、防止し、市民生活の安全を守るための田子山地区浸水対策事業などに費やしたことによるものです。



市債残高

【表3】 (億円)



志木市の借金は？

市債残高【表3】は、平成17年度末で約三百十二億一千万円でしたが、平成18年度末で約三百七億三千万円になり、約四億八千万円減少しました。

市民一人あたりに換算すると約四十五万円となり、昨年度に比べ、約一万円近くの減となりました。

借入は、将来にも役に立つ財産形成のために、後年度の財政負担を考慮しながら、計画的に行っていきます。